

第 88 回「山形県内企業の景気動向調査」速報

(令和 8 年 8 月調査)

～景況感は 4 期ぶりの悪化。先行きは悪化の見通し～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲2.4（前回調査比 0.6 ポイント下落）と **4 期ぶりに悪化**となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」は改善、「売上高」と「営業利益」は悪化となり、「人員・人手」はプラス幅が拡大した。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が▲14.7（前回調査比 12.0 ポイント下落）、製造業が 10.8（前回調査比 13.8 ポイント上昇）、卸・小売業が 3.6（前回調査比 5.9 ポイント上昇）、サービス業が▲15.2（前回調査比 16.4 ポイント下落）と、製造業と卸・小売業は改善、建設業とサービス業は悪化となった。製造業と卸・小売業は、D I 値がプラスに転じた一方、サービス業はマイナスに転じた。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲3.4（前回調査比 4.6 ポイント下落）、村山北部が▲9.1（前回調査比 1.3 ポイント上昇）、最上が▲9.4（前回調査比 12.9 ポイント下落）、置賜が▲7.7（前回調査比 17.9 ポイント上昇）、庄内田川が 14.1（前回調査比 9.9 ポイント上昇）、庄内飽海が▲6.2（前回調査比 12.2 ポイント下落）と、村山北部、置賜、庄内田川の 3 地域は改善、村山南部、最上、庄内飽海の 3 地域は悪化となった。村山南部、最上、庄内飽海では D I 値がマイナスに転じた。
- **先行き見通し**は「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲10.2（今回調査比 7.8 ポイント下落）と 悪化の見込みとなっている。

【 特別調査 】

- **設備投資動向**について尋ねたところ、「実施する（した）」と回答した企業の割合は 38.9%と、前年度に比べ 1.6 ポイントの低下となった。また「実施しない」と回答した企業の割合は 41.3%と 2.3 ポイントの低下となった。

令和 8 年 9 月

株式会社 フィデア情報総研

目次

I.	県内企業の業況	1
1.	概況	1
2.	業種別の動向	2
(1)	業種別の概況	2
(2)	業種別 D I 値の動向	3
①	建設業	3
②	製造業	4
③	卸・小売業	5
④	サービス業	6
3.	地域別の動向	7
(1)	地域別の概況	7
(2)	地域別 D I 値の動向	8
①	村山南部	8
②	村山北部	9
③	最 上	10
④	置 賜	11
⑤	庄内田川	12
⑥	庄内飽海	13
II.	景気の天気予報図	14
III.	特別調査	15
1.	設備投資動向について	15
(1)	設備投資動向	15
(2)	設備投資金額	18
(3)	設備投資目的	19
(4)	設備資金調達方法	21
	<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>	22
	<参考資料 II : 調査の概要>	22

I. 県内企業の業況

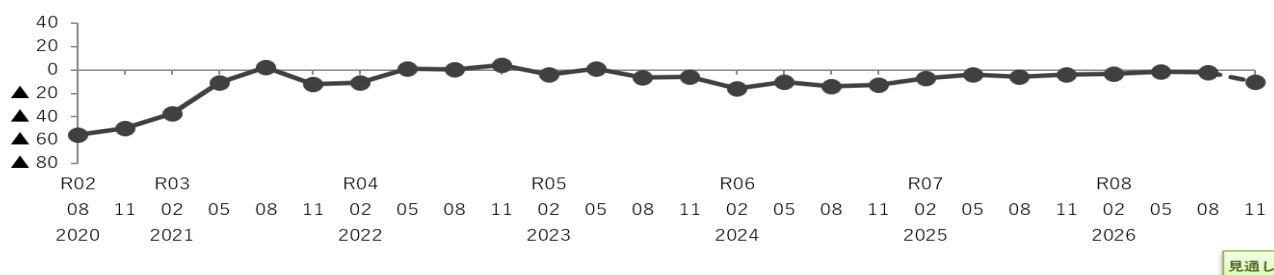
1. 概況

県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲2.4（前回調査比 0.6 ポイント下落）と 4 期ぶりの悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」は改善、「売上高」と「営業利益」は悪化となり、「人員・人手」はプラス幅が拡大した。

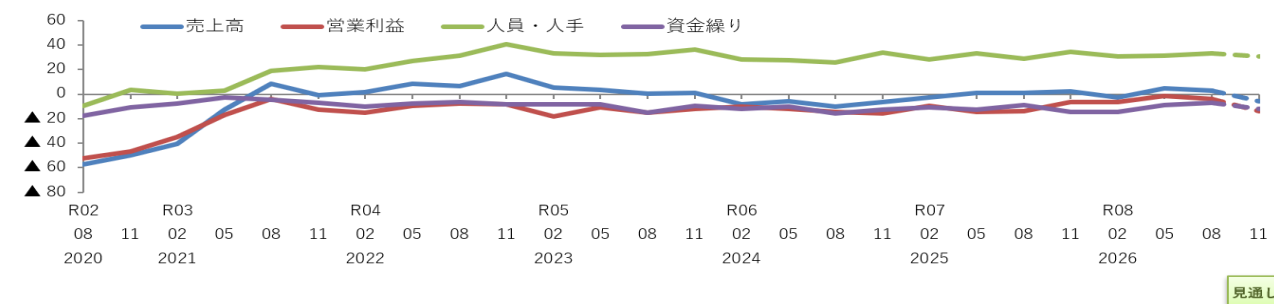
先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲10.2（今回調査比 7.8 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

製造業と卸・小売業は改善の動きで推移している一方、建設業とサービス業では売上高、営業利益の低下により業況悪化の動きがみられた。結果として、自社業況の全体感は小幅ながら 4 期ぶりに悪化した。先行きについては、資材・原材料・燃料費等の価格上昇、価格転嫁、採算確保の難しさへの懸念が強く、引き続き慎重な見通しとなっている。

図表 1 全業種「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
R 07. 08 (n=351)	▲ 6. 2	(▲ 2. 2)	▲ 6. 9	1. 2	▲ 14. 0	28. 8	▲ 9. 1
R 07. 11 (n=352)	▲ 4. 3	(1. 9)	▲ 9. 1	2. 0	▲ 6. 5	34. 4	▲ 14. 5
R 08. 02 (n=340)	▲ 3. 2	(1. 1)	▲ 12. 2	▲ 2. 9	▲ 6. 5	30. 6	▲ 14. 7
R 08. 05 (n=342)	▲ 1. 8	(1. 4)	▲ 15. 3	4. 7	▲ 1. 2	31. 6	▲ 8. 8
R 08. 08 (n=332)	▲ 2. 4	(▲ 0. 6)	▲ 19. 0	3. 0	▲ 3. 9	33. 2	▲ 6. 7
前回調査比	-	-	-	(▲ 1. 7)	(▲ 2. 7)	(1. 6)	(2. 1)
先行き見通し	▲ 10. 2	-	-	▲ 6. 0	▲ 14. 1	30. 7	▲ 11. 8
今回調査比	(▲ 7. 8)	-	-	(▲ 9. 0)	(▲ 10. 2)	(▲ 2. 5)	(▲ 5. 1)

※「売上高」D I 値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

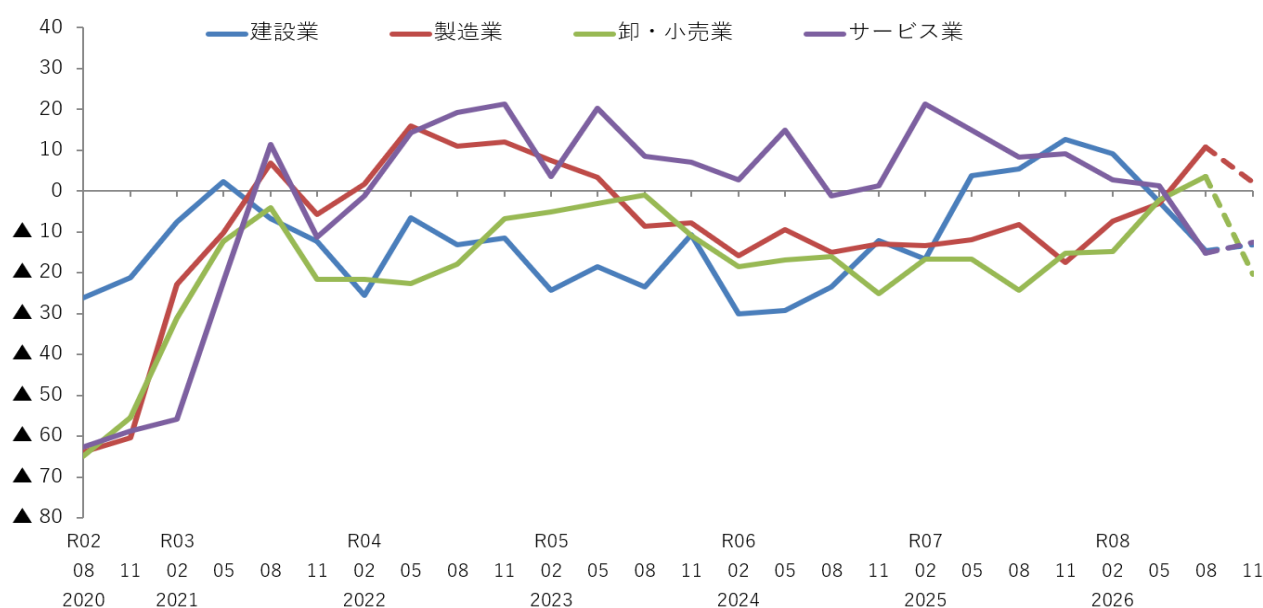
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が▲14.7（前回調査比 12.0 ポイント下落）、製造業が 10.8（前回調査比 13.8 ポイント上昇）、卸・小売業が 3.6（前回調査比 5.9 ポイント上昇）、サービス業が▲15.2（前回調査比 16.4 ポイント下落）と、製造業と卸・小売業は改善、建設業とサービス業は悪化となった。製造業、卸・小売業は、D I 値がプラスに転じた一方、サービス業はマイナスに転じた。

業況の先行き見通しは、建設業、サービス業で改善、製造業、卸・小売業で悪化の見込みとなっている。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
R 07. 08 (n=351)	▲ 6.2	5.4	▲ 8.3	▲ 24.2	8.3
R 07. 11 (n=352)	▲ 4.3	12.5	▲ 17.5	▲ 15.2	9.1
R 08. 02 (n=340)	▲ 3.2	9.0	▲ 7.5	▲ 14.8	2.7
R 08. 05 (n=342)	▲ 1.8	▲ 2.7	▲ 3.0	▲ 2.3	1.2
R 08. 08 (n=332)	▲ 2.4	▲ 14.7	10.8	3.6	▲ 15.2
前回調査比	(▲ 0.6)	(▲ 12.0)	(13.8)	(5.9)	(▲ 16.4)
先行き見通し	▲ 10.2	▲ 13.2	2.0	▲ 20.3	▲ 12.6
今回調査比	(▲ 7.8)	(1.5)	(▲ 8.8)	(▲ 23.9)	(2.6)

(2) 業種別 D I 値の動向

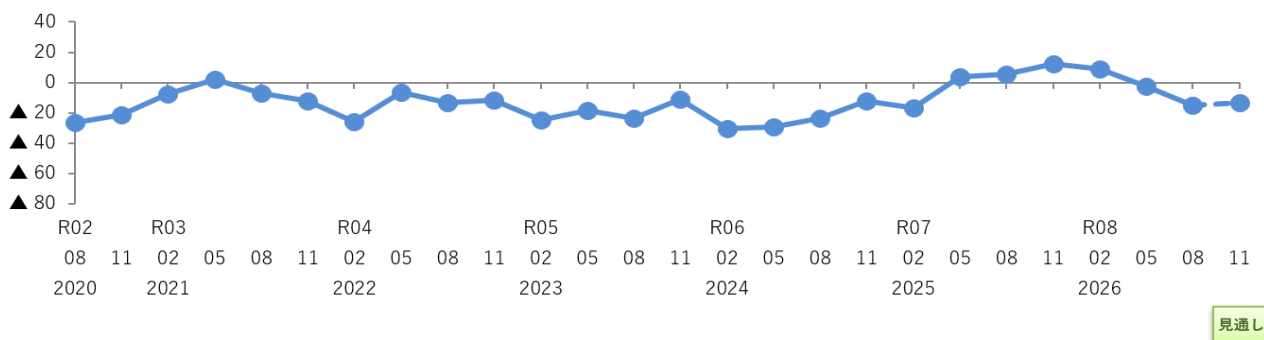
① 建設業

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲14.7（前回調査比 12.0 ポイント下落）と、3 期連続で悪化の動きとなった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「手持工事高」は改善、「完成工事高」、「営業利益」、「資金繰り」は悪化となった。「人員・人手」はプラス幅が拡大した。「手持工事高」は、D I 値がプラスに転じたが、「完成工事高」、「資金繰り」はマイナスに転じた。

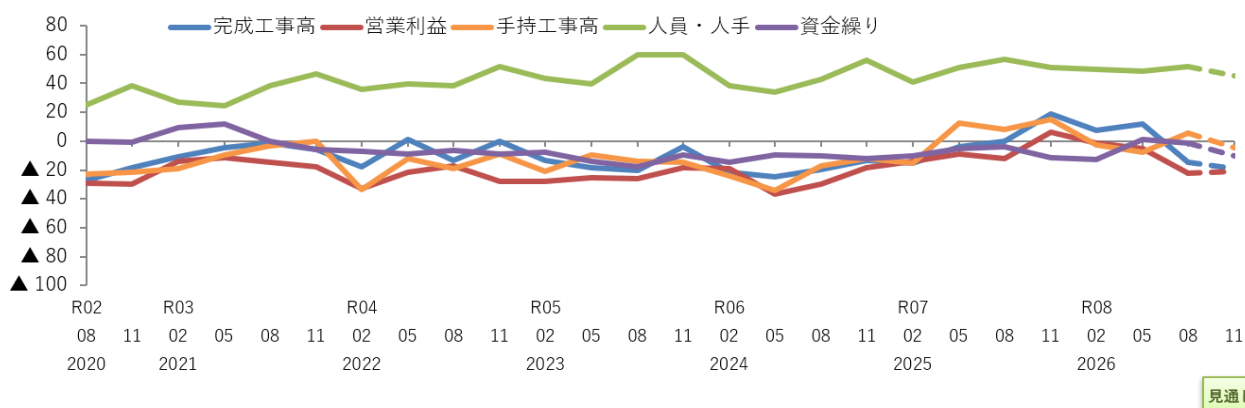
各社のコメントからみると、災害復旧工事を中心とした受注が引き続き確保されている地域がある一方、資材・原材料、燃料等の価格上昇により、受注や売り上げが確保できても利益の確保が難しい、人材不足により新規受注の確保が難しいという声が寄せられた。また、熱中症防止対策として、空調服の導入・更新等の労働環境整備への対応を行っているとの声もあった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲13.2（今回調査比 1.5 ポイント上昇）とやや改善が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
R 07.08 (n=74)	5.4	(1.6)	▲ 3.8	0.0	▲ 12.2	8.1	56.8	▲ 4.0
R 07.11 (n=80)	12.5	(7.1)	▲ 13.5	18.8	6.2	15.0	51.2	▲ 11.3
R 08.02 (n=78)	9.0	(▲ 3.5)	▲ 17.5	7.7	▲ 1.2	▲ 2.5	50.0	▲ 12.8
R 08.05 (n=76)	▲ 2.7	(▲ 11.7)	▲ 21.8	11.8	▲ 5.3	▲ 7.9	48.7	1.3
R 08.08 (n=68)	▲ 14.7	(▲ 12.0)	▲ 26.3	▲ 14.7	▲ 22.0	5.9	51.5	▲ 1.4
前回調査比	-	-	-	(▲ 26.5)	(▲ 16.7)	(13.8)	(2.8)	(▲ 2.7)
先行き見通し	▲ 13.2	-	-	▲ 19.1	▲ 20.6	▲ 4.4	45.6	▲ 10.3
今回調査比	(1.5)	-	-	3 (▲ 4.4)	(1.4)	(▲ 10.3)	(▲ 5.9)	(▲ 8.9)

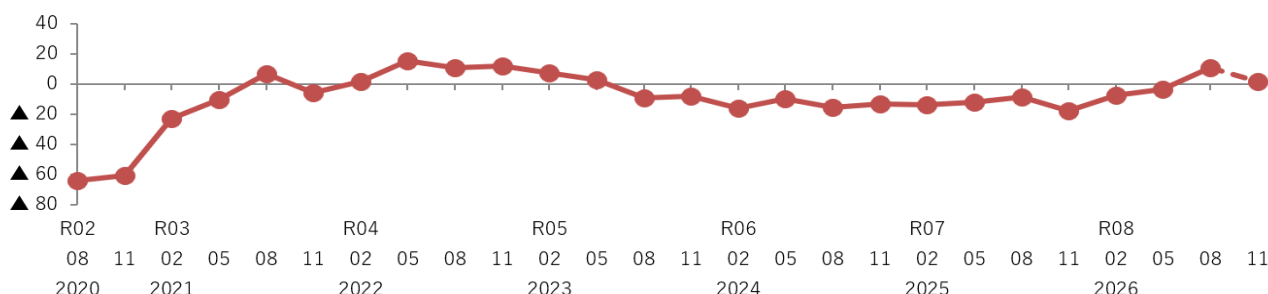
② 製造業

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 10.8（前回調査比 13.8 ポイント上昇）と 3 期連続で改善し、プラスに転じた。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」、「営業利益」、「在庫状況」、「資金繰り」は改善、「仕入価格」は悪化となり、「人員・人手」はプラス幅が拡大した。「営業利益」は、D I 値がプラスに転じた。

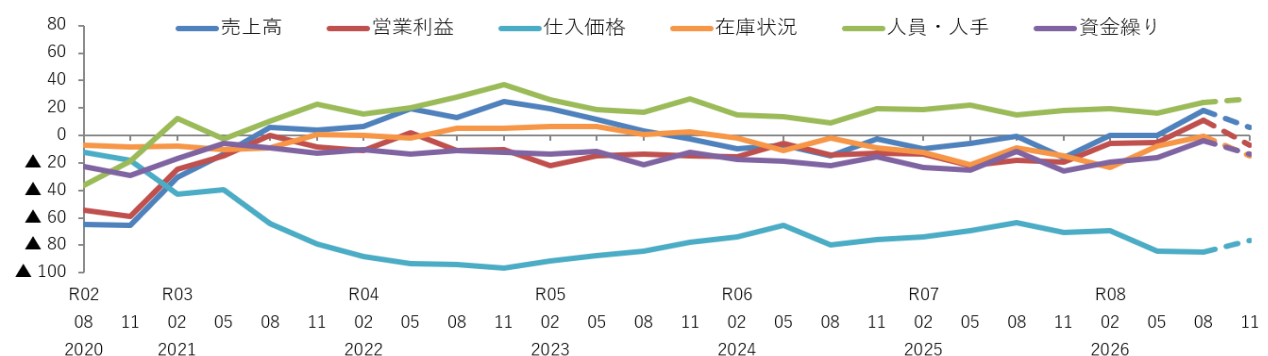
各社のコメントからみると、半導体関連設備の受注が好調であること、D X ・省力化・生産性向上への対応が進んでいるとの声があった。資材・原材料等の価格が高止まりし価格転嫁や利益確保が課題となっているものの、その調達面は改善し、供給不足は緩和している状況がうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が 2.0（今回調査比 ▲8.8 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員・人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 07. 08 (n=109)	▲ 8.3	(3.6)	▲ 11.6	▲ 0.9	▲ 18.4	▲ 63.3	▲ 9.2	14.7	▲ 11.9
R 07. 11 (n=103)	▲ 17.5	(▲ 9.2)	▲ 10.1	▲ 16.5	▲ 19.5	▲ 70.9	▲ 14.6	18.4	▲ 26.2
R 08. 02 (n=107)	▲ 7.5	(10.0)	▲ 16.5	0.0	▲ 5.6	▲ 69.1	▲ 23.3	19.6	▲ 19.6
R 08. 05 (n=100)	▲ 3.0	(4.5)	▲ 10.3	0.0	▲ 5.0	▲ 84.0	▲ 8.0	16.0	▲ 16.0
R 08. 08 (n=101)	10.8	(13.8)	▲ 14.0	17.9	10.8	▲ 85.1	▲ 0.9	23.8	▲ 3.9
前回調査比	-	-	-	(17.9)	(15.8)	(▲ 1.1)	(7.1)	(7.8)	(12.1)
先行き見通し	2.0	-	-	6.0	▲ 7.0	▲ 76.2	▲ 14.9	26.8	▲ 13.9
今回調査比	(▲ 8.8)	-	-	(▲ 11.9)	(▲ 17.8)	(8.9)	(▲ 14.0)	(3.0)	(▲ 10.0)

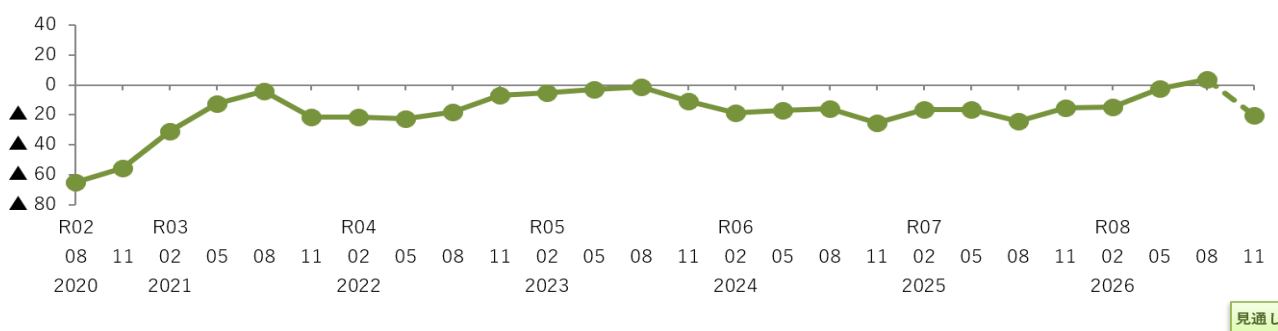
③ 卸・小売業

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 3.6（前回調査比 5.9 ポイント上昇）と 4 期連続で改善し、プラスに転じた。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」、「営業利益」、「仕入価格」、「在庫状況」の 4 項目は改善、「資金繰り」は悪化、「人員・人手」はプラス幅が縮小した。「売上高」は、D I 値がプラスに転じた。

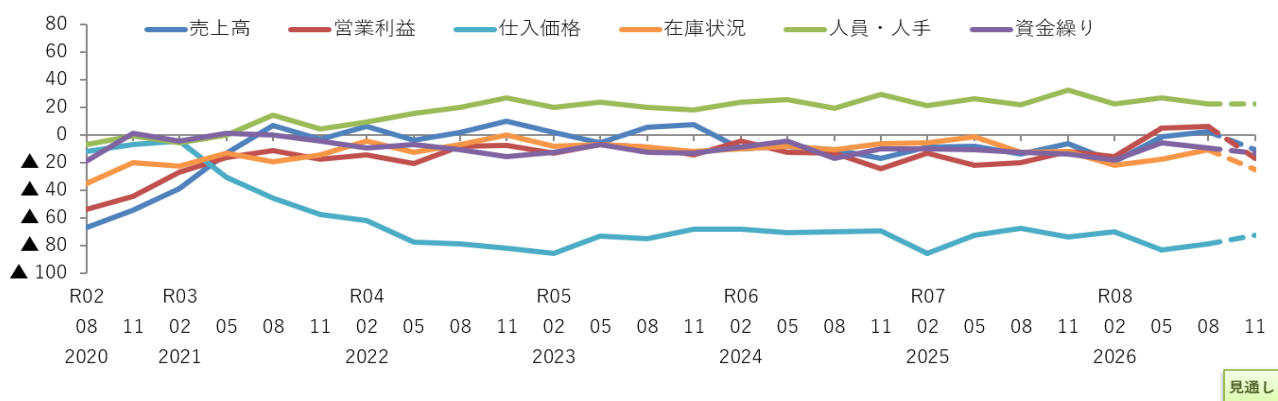
各社のコメントからみると、石油関連製品の調達は改善されてきているものの、幅広い商品で仕入れ価格の上昇は継続しており、価格転嫁や利益確保の難しさがうかがえた。一方、省エネ家電買い替え補助金によるエアコン等の需要が高まっており、業況が改善している状況もあった。また、地域の高齢化や人口減少による需要の減少、従業員の世代交代の対応を懸念する声があった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲20.3（今回調査比 23.9 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業 利益	仕入 価格	在庫 状況	人員 人手	資金 繰り
		前回調査比	前回調査予測						
R 07.08（n=95）	▲ 24.2	（▲ 7.5）	▲ 15.6	▲ 13.7	▲ 20.0	▲ 67.4	▲ 12.6	22.1	▲ 12.6
R 07.11（n=92）	▲ 15.2	（9.0）	▲ 11.6	▲ 6.5	▲ 12.0	▲ 73.9	▲ 12.0	32.7	▲ 14.1
R 08.02（n=81）	▲ 14.8	（0.4）	▲ 12.0	▲ 19.7	▲ 16.0	▲ 70.4	▲ 22.2	22.3	▲ 18.5
R 08.05（n=85）	▲ 2.3	（12.5）	▲ 28.4	▲ 1.2	4.7	▲ 83.5	▲ 17.6	27.1	▲ 5.9
R 08.08（n=84）	3.6	（5.9）	▲ 18.8	2.4	6.0	▲ 78.6	▲ 10.7	22.6	▲ 9.5
前回調査比	－	－	－	（3.6）	（1.3）	（4.9）	（6.9）	（▲ 4.5）	（▲ 3.6）
先行き見通し	▲ 20.3	－	－	▲ 10.7	▲ 16.7	▲ 72.6	▲ 25.0	22.6	▲ 13.1
今回調査比	（▲ 23.9）	－	－	（▲ 13.1）	（▲ 22.7）	（6.0）	（▲ 14.3）	（0.0）	（▲ 3.6）

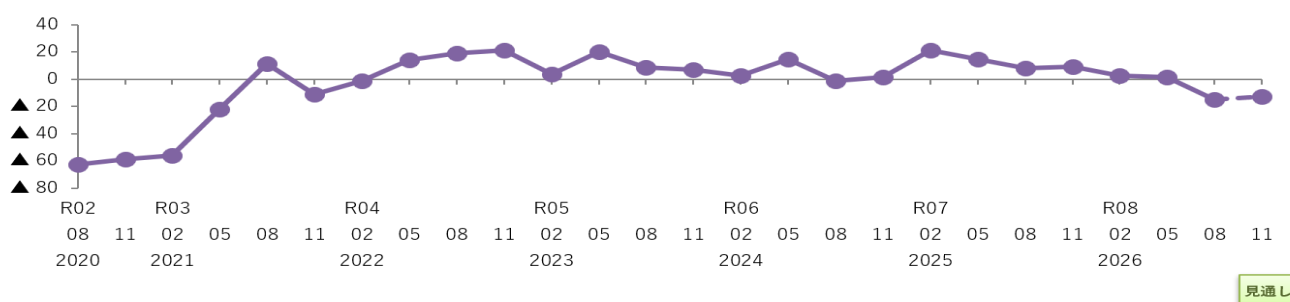
④ サービス業

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲15.2（前回調査比 16.4 ポイント下落）と 3 期連続の悪化となり、マイナスに転じた。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」、「営業利益」は悪化し、「資金繰り」は小幅の改善となった。「人員・人手」はプラス幅が拡大した。「営業利益」は、D I 値がマイナスに転じた。

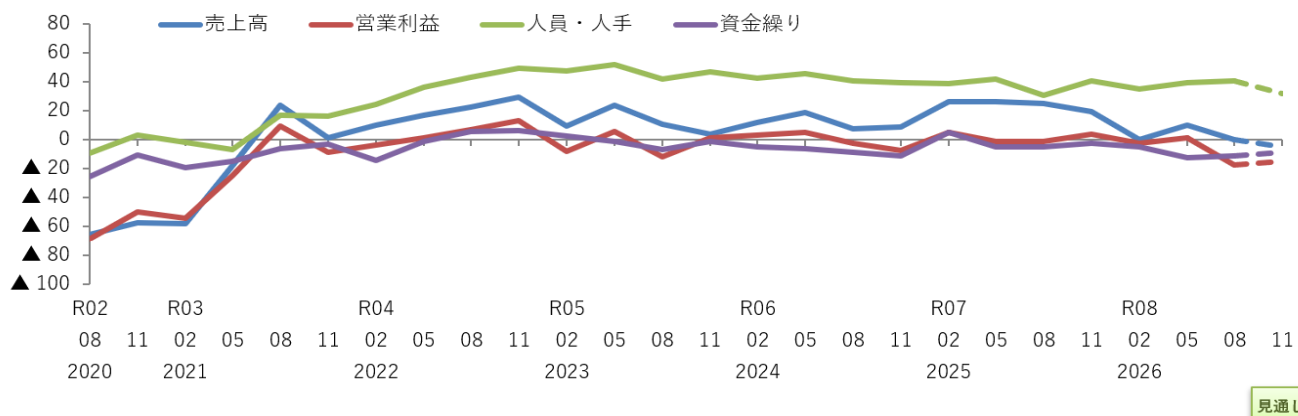
各社のコメントからみると、宿泊業の食材費、光熱費、運輸業の燃料費、自動車整備業のオイル・部品代、IT 関連のハードウェア価格など、幅広い業種で経費の上昇が営業利益を圧迫していることがうかがえた。また、不動産業やリース業では、金利上昇による影響が懸念されるとの声もあった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲12.6（今回調査比 2.6 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		前回調査比	前回調査予測				
R 07.08 (n=73)	8.3	(▲ 6.5)	5.0	24.7	▲ 1.3	30.2	▲ 5.4
R 07.11 (n=77)	9.1	(0.8)	0.0	19.5	3.9	40.3	▲ 2.6
R 08.02 (n=74)	2.7	(▲ 6.4)	▲ 1.3	0.0	▲ 2.7	35.1	▲ 5.4
R 08.05 (n=81)	1.2	(▲ 1.5)	▲ 1.3	9.9	1.3	39.5	▲ 12.4
R 08.08 (n=79)	▲ 15.2	(▲ 16.4)	▲ 18.5	0.0	▲ 17.7	40.5	▲ 11.4
前回調査比	-	-	-	(▲ 9.9)	(▲ 19.0)	(1.0)	(1.0)
先行き見通し	▲ 12.6	-	-	▲ 5.0	▲ 15.1	31.6	▲ 8.9
今回調査比	(2.6)	-	-	(▲ 5.0)	(2.6)	(▲ 8.9)	(2.5)

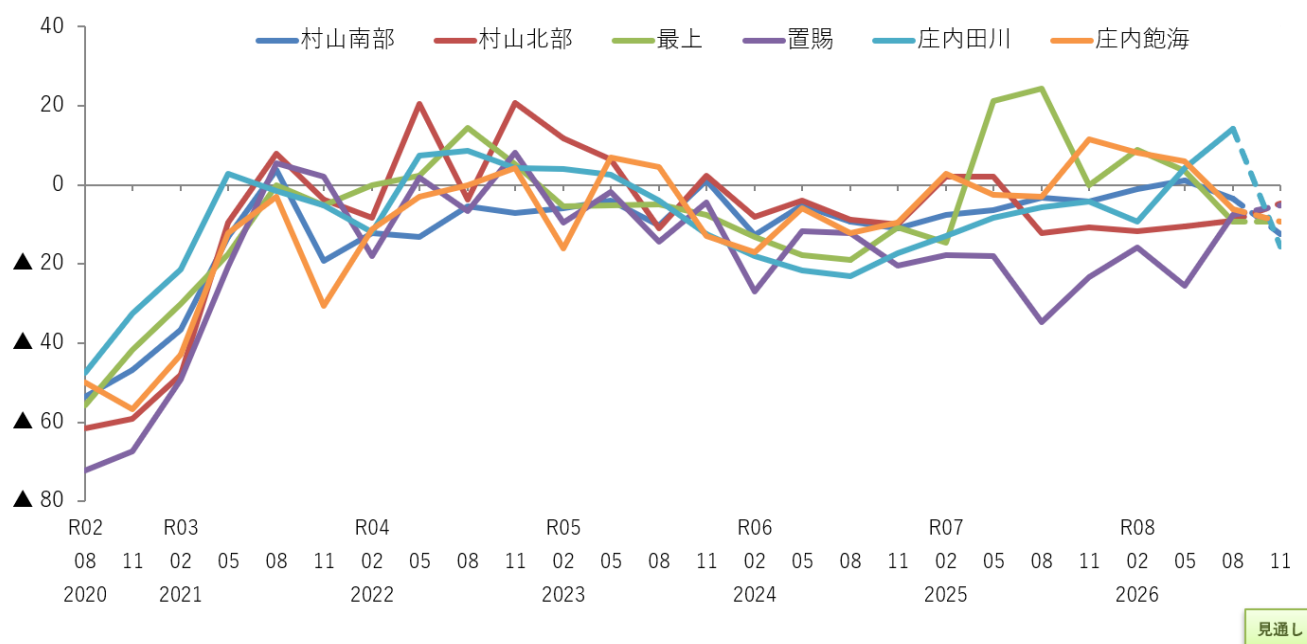
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲3.4（前回調査比 4.6 ポイント下落）、村山北部が▲9.1（前回調査比 1.3 ポイント上昇）、最上が▲9.4（前回調査比 12.9 ポイント下落）、置賜が▲7.7（前回調査比 17.9 ポイント上昇）、庄内田川が 14.1（前回調査比 9.9 ポイント上昇）、庄内飽海が▲6.2（前回調査比 12.2 ポイント下落）と、村山北部、置賜、庄内田川の3地域は改善、村山南部、最上、庄内飽海の3地域は悪化となった。村山南部、最上、庄内飽海ではDI値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しをみると村山北部と置賜は改善、村山南部、庄内田川、庄内飽海は悪化、最上は横ばいで推移する見込みとなっている。

図表 12 地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
R 07. 08 (n=351)	▲ 6.2	▲ 3.3	▲ 12.2	24.2	▲ 34.8	▲ 5.7	▲ 3.1
R 07. 11 (n=352)	▲ 4.3	▲ 4.2	▲ 10.7	0.0	▲ 23.3	▲ 4.2	11.5
R 08. 02 (n=340)	▲ 3.2	▲ 1.1	▲ 11.8	8.8	▲ 15.8	▲ 9.3	8.2
R 08. 05 (n=342)	▲ 1.8	1.2	▲ 10.4	3.5	▲ 25.6	4.2	6.0
R 08. 08 (n=332)	▲ 2.4	▲ 3.4	▲ 9.1	▲ 9.4	▲ 7.7	14.1	▲ 6.2
前回調査比	(▲ 0.6)	(▲ 4.6)	(1.3)	(▲ 12.9)	(17.9)	(9.9)	(▲ 12.2)
先行き見通し	▲ 10.2	▲ 12.5	▲ 4.6	▲ 9.4	▲ 5.2	▲ 15.6	▲ 9.2
今回調査比	(▲ 7.8)	(▲ 9.1)	(4.5)	(0.0)	(2.5)	(▲ 29.7)	(▲ 3.0)

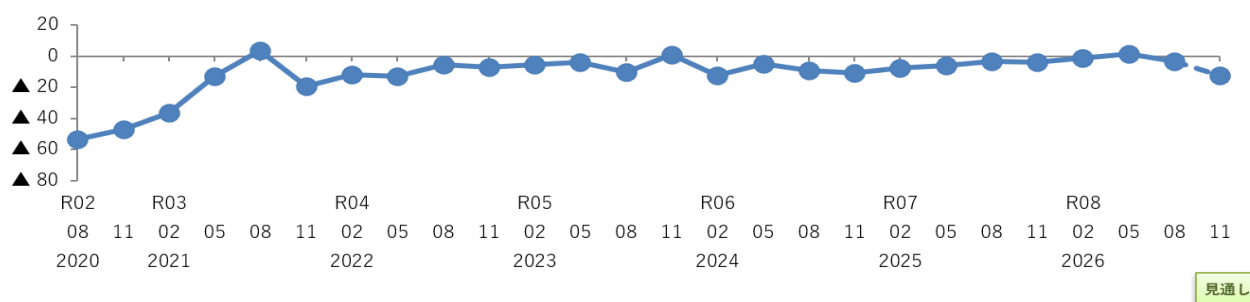
(2) 地域別 D I 値の動向

① 村山南部

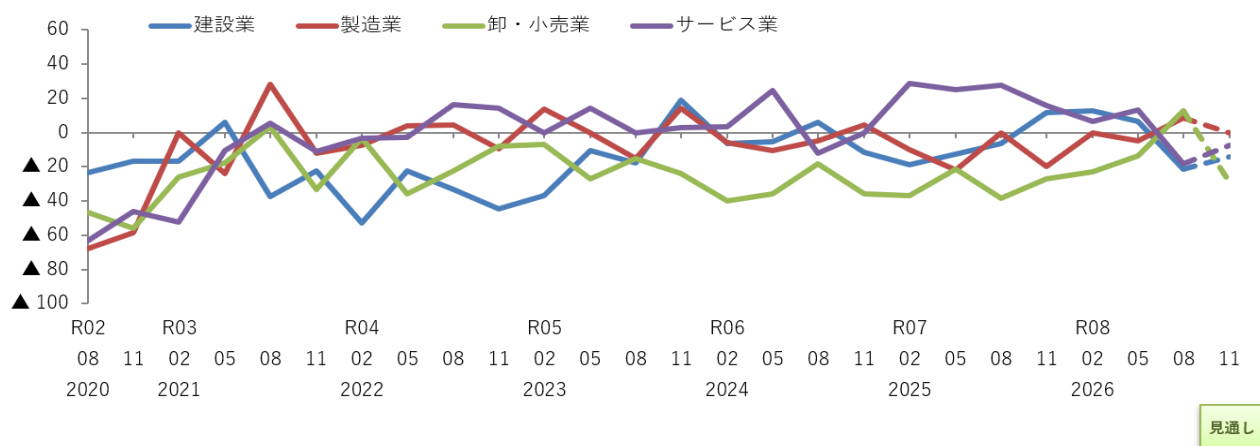
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲3.4（前回調査比 4.6 ポイント下落）と悪化となり、マイナスに転じた。業種別にみると、製造業、卸・小売業は改善、建設業、サービス業は大幅な悪化となっている。製造業、卸・小売業は、D I 値がプラスに転じ、建設業、サービス業はマイナスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲12.5（今回調査比 9.1 ポイント下落）と悪化する見込みとなっている。

図表 13 村山南部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 14 村山南部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

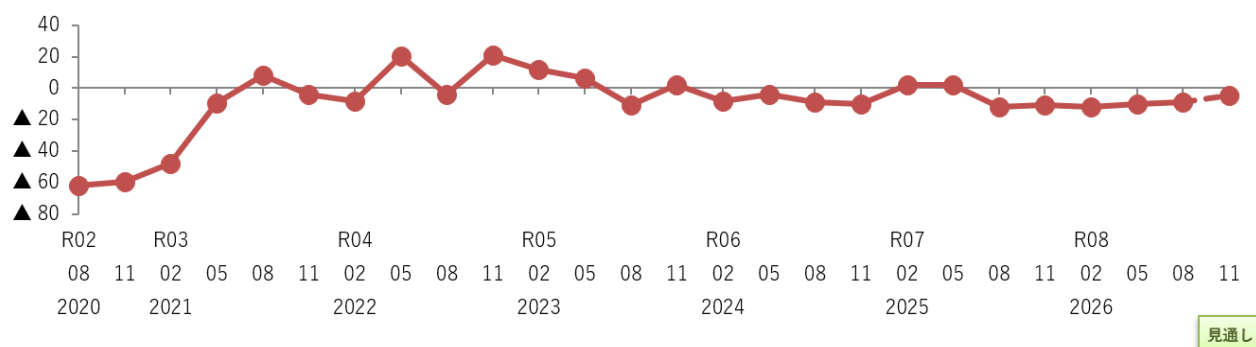
村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 07. 08 (n=92)	▲ 3. 3	(3. 0)	▲ 2. 1	▲ 6. 2	0. 0	▲ 38. 5	27. 6
R 07. 11 (n=95)	▲ 4. 2	(▲ 0. 9)	▲ 3. 3	11. 8	▲ 20. 0	▲ 26. 9	15. 7
R 08. 02 (n=91)	▲ 1. 1	(3. 1)	▲ 11. 6	12. 5	0. 0	▲ 22. 7	6. 3
R 08. 05 (n=88)	1. 2	(2. 3)	▲ 12. 1	6. 7	▲ 4. 8	▲ 13. 7	13. 4
R 08. 08 (n=88)	▲ 3. 4	(▲ 4. 6)	▲ 19. 3	▲ 21. 5	8. 7	12. 5	▲ 18. 5
前回調査比	-	-	-	(▲ 28. 2)	(13. 5)	(26. 2)	(▲ 31. 9)
先行き見通し	▲ 12. 5	-	-	▲ 14. 3	0. 0	▲ 29. 2	▲ 7. 4
今回調査比	(▲ 9. 1)	-	-	(7. 2)	(▲ 8. 7)	(▲ 41. 7)	(11. 1)

② 村山北部

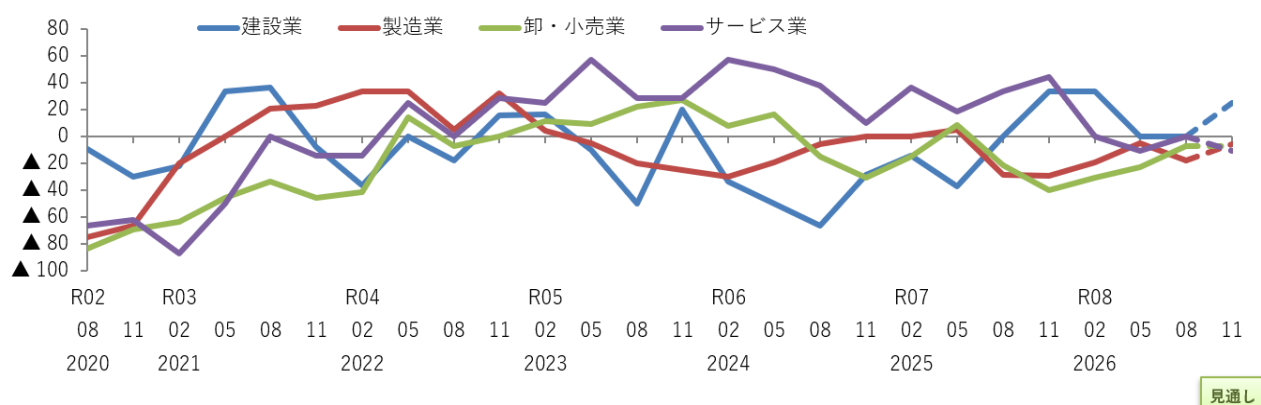
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲9.1（前回調査比 1.3 ポイント上昇）と 2 期連続で改善の動きとなった、業種別にみると、卸・小売業とサービス業は改善、製造業は悪化、建設業は横ばいとなった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲4.6（今回調査比 4.5 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 15 村山北部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 16 村山北部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

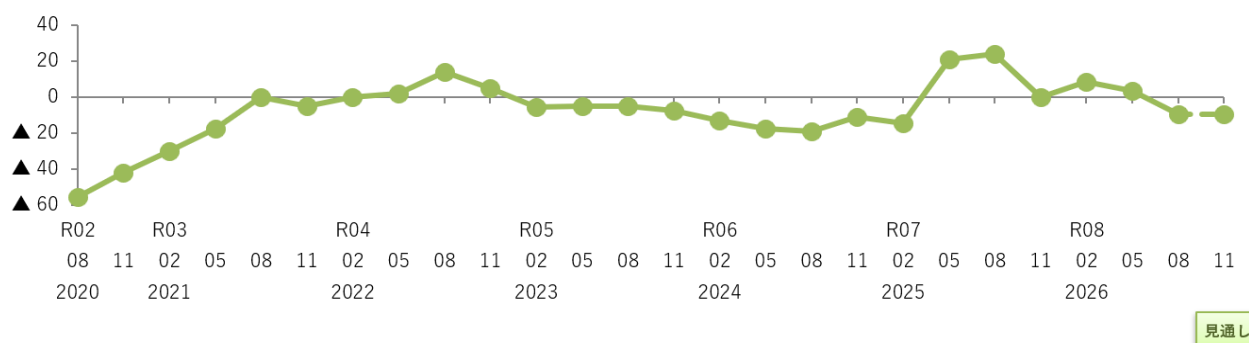
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 07. 08 (n=49)	▲ 12. 2	(▲ 14. 2)	▲ 10. 0	0. 0	▲ 28. 6	▲ 21. 4	33. 3
R 07. 11 (n=47)	▲ 10. 7	(1. 5)	▲ 2. 1	33. 3	▲ 29. 4	▲ 40. 0	44. 5
R 08. 02 (n=51)	▲ 11. 8	(▲ 1. 1)	▲ 6. 4	33. 3	▲ 19. 0	▲ 30. 8	0. 0
R 08. 05 (n=48)	▲ 10. 4	(1. 4)	▲ 15. 7	0. 0	▲ 5. 2	▲ 23. 1	▲ 11. 1
R 08. 08 (n=44)	▲ 9. 1	(1. 3)	▲ 4. 2	0. 0	▲ 17. 7	▲ 7. 2	0. 0
前回調査比	-	-	-	(0. 0)	(▲ 12. 5)	(15. 9)	(11. 1)
先行き見通し	▲ 4. 6	-	-	25. 0	▲ 5. 9	▲ 7. 2	▲ 11. 1
今回調査比	(4. 5)	-	-	(25. 0)	(11. 8)	(0. 0)	(▲ 11. 1)

③ 最 上

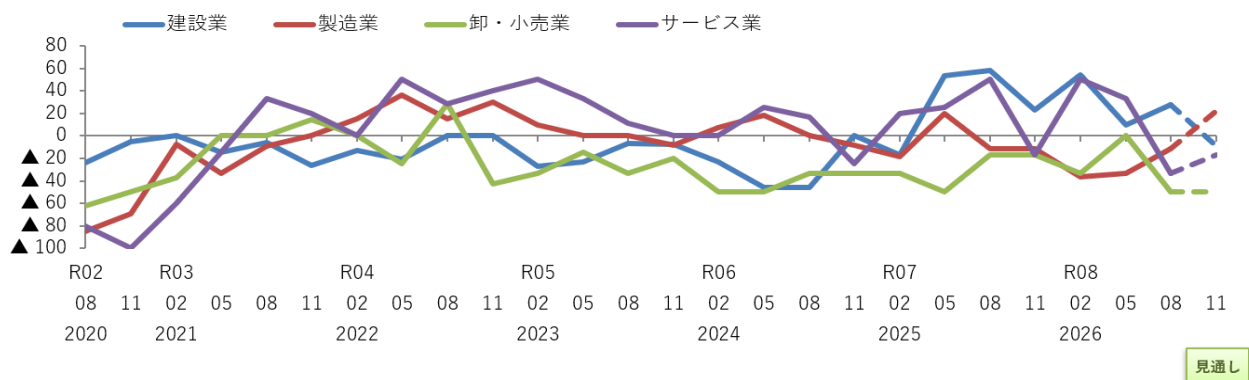
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲9.4（前回調査比 12.9 ポイント下落）と 2 期連続の悪化となり、マイナスに転じた。業種別にみると、建設業、製造業は改善となった。一方、卸・小売業、サービス業は大幅に悪化となり、D I 値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲9.4（今回調査比±0.0 ポイント）と横ばいで推移する見込みとなっている。

図表 17 最上「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 18 最上「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

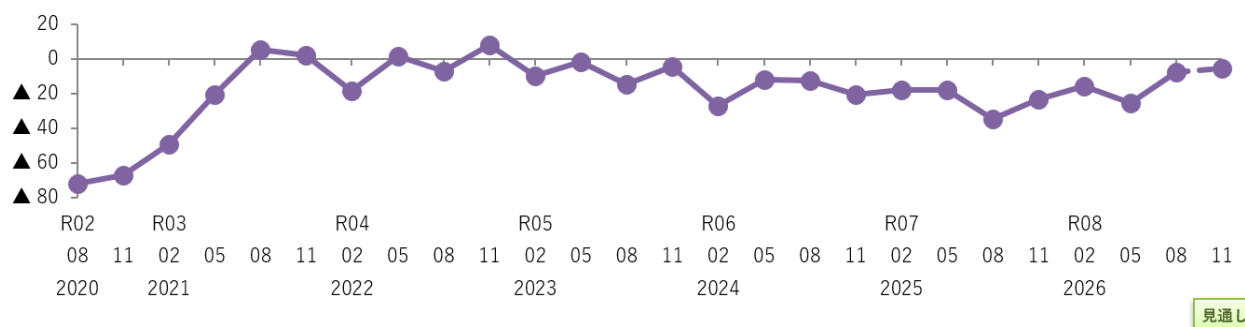
最 上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービ
R 07. 08 (n=33)	24.2	(3.0)	▲ 3.0	58.4	▲ 11.1	▲ 16.7	50.0
R 07. 11 (n=34)	0.0	(▲ 24.2)	6.0	23.1	▲ 11.1	▲ 16.6	▲ 16.7
R 08. 02 (n=34)	8.8	(8.8)	▲ 11.8	54.5	▲ 36.4	▲ 33.3	50.0
R 08. 05 (n=28)	3.5	(▲ 5.3)	▲ 11.7	10.0	▲ 33.4	0.0	33.3
R 08. 08 (n=32)	▲ 9.4	(▲ 12.9)	▲ 25.0	27.3	▲ 11.1	▲ 50.0	▲ 33.3
前回調査比	-	-	-	(17.3)	(22.3)	(▲ 50.0)	(▲ 66.6)
先行き見通し	▲ 9.4	-	-	▲ 9.1	22.2	▲ 50.0	▲ 16.7
今回調査比	(0.0)	-	-	(▲ 36.4)	(33.3)	(0.0)	(16.6)

④ 置 賜

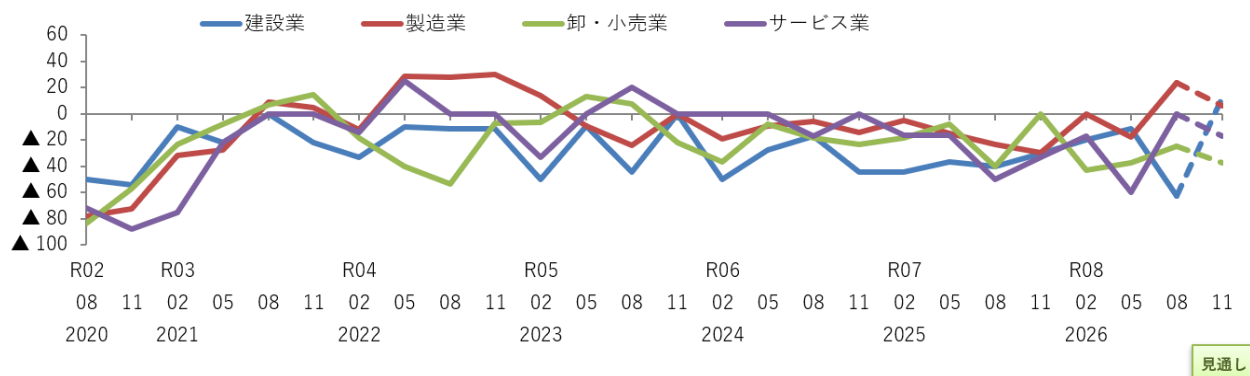
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲7.7（前回調査比 17.9 ポイント上昇）と大幅に改善となった。業種別にみると、製造業、卸・小売業、サービス業で大幅に改善し、建設業は大幅に悪化した。製造業は、D I 値がプラスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲5.2（今回調査比 2.5 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 19 置賜「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

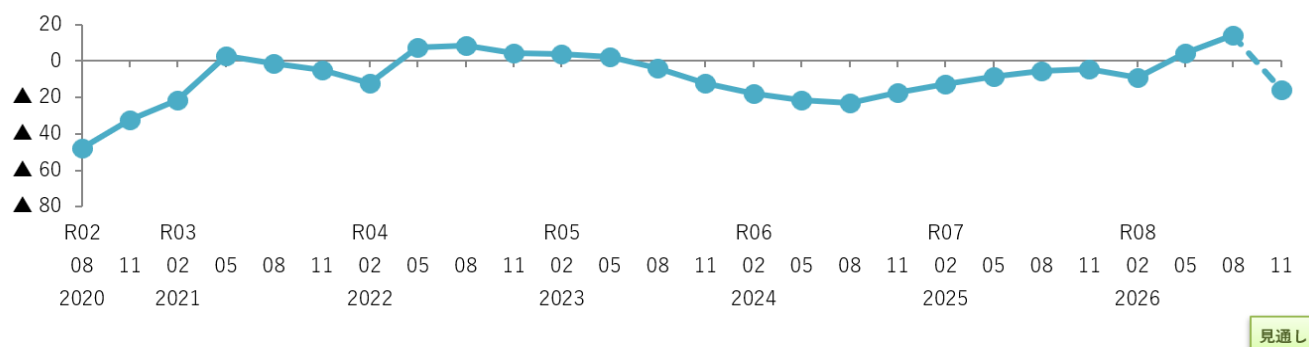
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービ
R 07. 08 (n=43)	▲ 34.8	(▲ 16.8)	▲ 8.0	▲ 40.0	▲ 23.6	▲ 40.0	▲ 50.0
R 07. 11 (n=43)	▲ 23.3	(11.5)	▲ 16.3	▲ 30.0	▲ 29.4	0.0	▲ 33.3
R 08. 02 (n=38)	▲ 15.8	(7.5)	▲ 27.9	▲ 20.0	0.0	▲ 42.9	▲ 16.7
R 08. 05 (n=39)	▲ 25.6	(▲ 9.8)	▲ 36.8	▲ 11.1	▲ 17.7	▲ 37.5	▲ 60.0
R 08. 08 (n=39)	▲ 7.7	(17.9)	▲ 30.8	▲ 62.5	23.6	▲ 25.0	0.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 51.4)	(41.3)	(12.5)	(60.0)
先行き見通し	▲ 5.2	-	-	12.5	5.8	▲ 37.5	▲ 16.7
今回調査比	(2.5)	-	-	(75.0)	(▲ 17.8)	(▲ 12.5)	(▲ 16.7)

⑤ 庄内田川

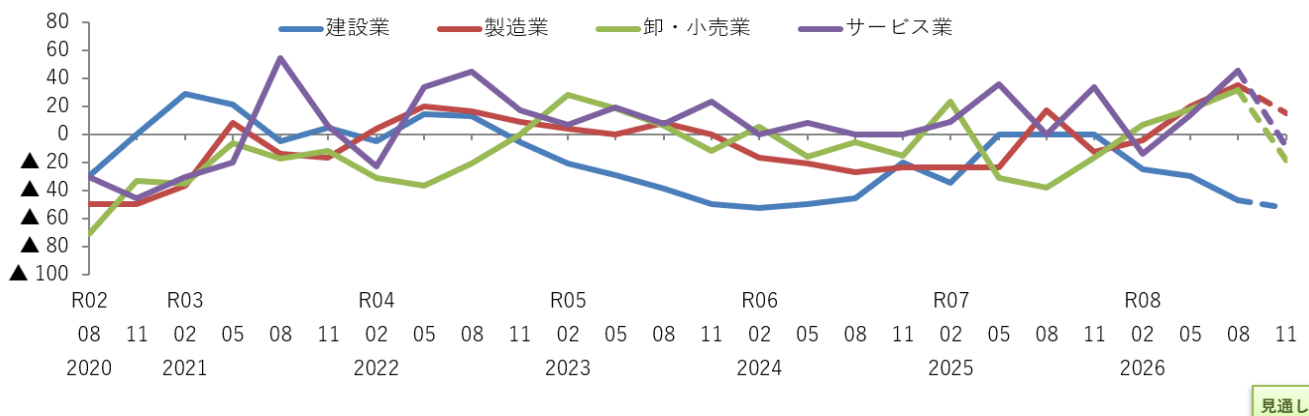
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 14.1（前回調査比 9.9 ポイント上昇）と 2 期連続の改善となった。業種別にみると、製造業、卸・小売業、サービス業は大幅に改善し、建設業は悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲15.6（今回調査 29.7 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 21 庄内田川「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 22 庄内田川「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

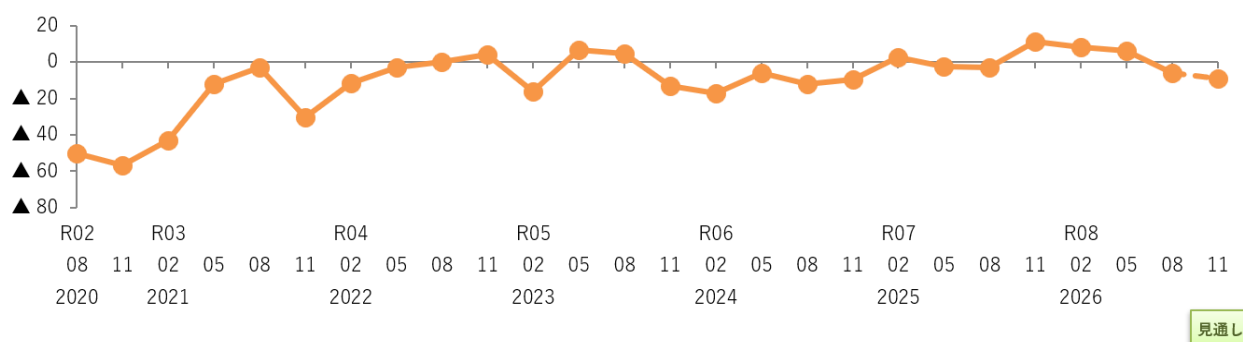
庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 07. 08 (n=70)	▲ 5.7	(2.7)	▲ 16.7	0.0	16.7	▲ 38.1	0.0
R 07. 11 (n=72)	▲ 4.2	(1.5)	▲ 21.5	0.0	▲ 12.5	▲ 16.7	33.3
R 08. 02 (n=65)	▲ 9.3	(▲ 5.1)	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 4.4	6.7	▲ 14.3
R 08. 05 (n=72)	4.2	(13.5)	▲ 7.7	▲ 30.0	20.0	17.7	13.3
R 08. 08 (n=64)	14.1	(9.9)	▲ 16.6	▲ 47.0	35.0	31.3	45.5
前回調査比	-	-	-	(▲ 17.0)	(15.0)	(13.6)	(32.2)
先行き見通し	▲ 15.6	-	-	▲ 52.9	15.0	▲ 18.7	▲ 9.1
今回調査比	(▲ 29.7)	-	-	(▲ 5.9)	(▲ 20.0)	(▲ 50.0)	(▲ 54.6)

⑥ 庄内飽海

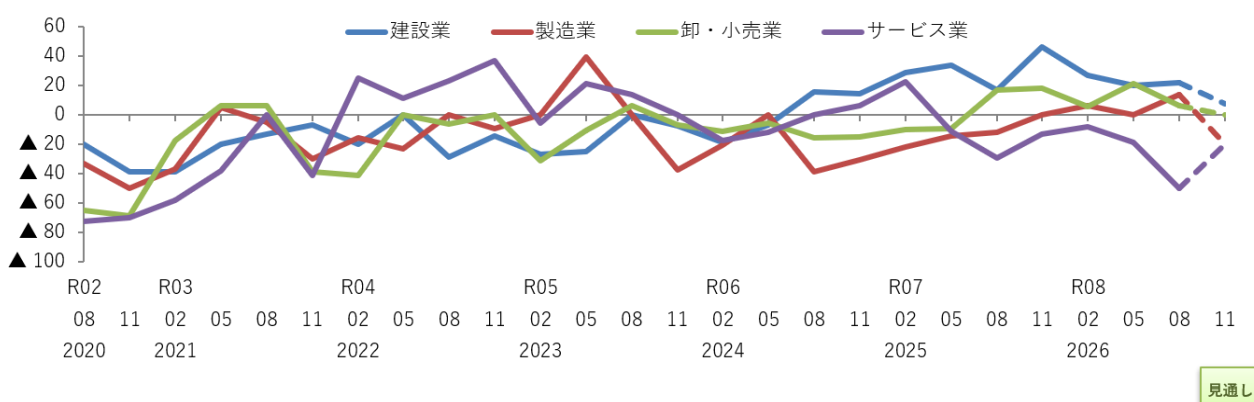
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲6.2（前回調査比 12.2 ポイント下落）と 3 期連続の悪化となり、D I 値がマイナスとなった。業種別にみると、建設業と製造業は改善となった。一方、卸・小売業とサービス業は大幅な悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲9.2（今回調査比 3.0 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 23 庄内飽海「自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 24 庄内飽海「業種別・自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



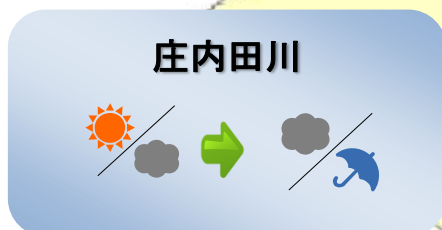
前年同期比の自社業況 D I 値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 07. 08 (n=64)	▲ 3.1	(▲ 0.5)	▲ 2.6	16.6	▲ 11.8	16.7	▲ 29.5
R 07. 11 (n=61)	11.5	(14.6)	▲ 12.5	46.1	0.0	17.7	▲ 13.4
R 08. 02 (n=61)	8.2	(▲ 3.3)	▲ 6.5	26.6	6.2	5.6	▲ 8.3
R 08. 05 (n=67)	6.0	(▲ 2.2)	▲ 16.3	20.0	0.0	21.1	▲ 18.7
R 08. 08 (n=65)	▲ 6.2	(▲ 12.2)	▲ 22.4	21.5	13.3	6.2	▲ 50.0
前回調査比	-	-	-	(1.5)	(13.3)	(▲ 14.9)	(▲ 31.3)
先行き見通し	▲ 9.2	-	-	7.1	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0
今回調査比	(▲ 3.0)	-	-	(▲ 14.4)	(▲ 33.3)	(▲ 6.2)	(30.0)

11. 景気の天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$



今期の概況

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

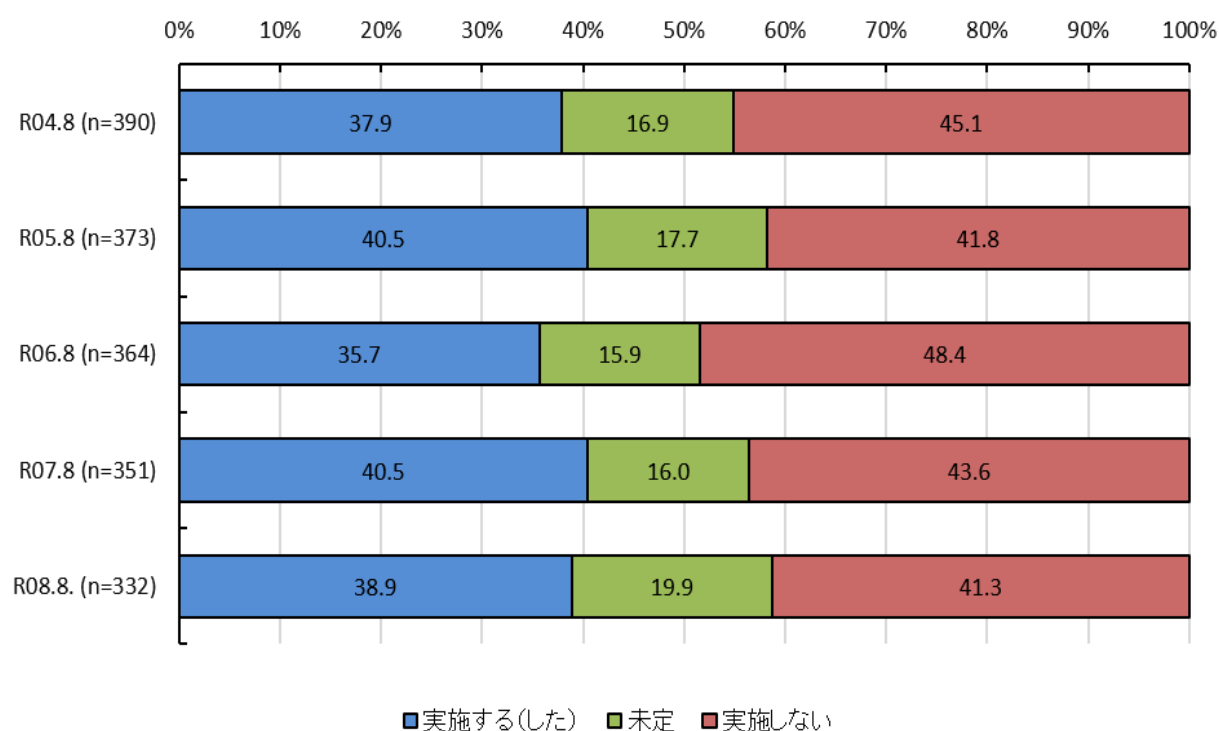
III. 特別調査

1. 設備投資動向について

(1) 設備投資動向

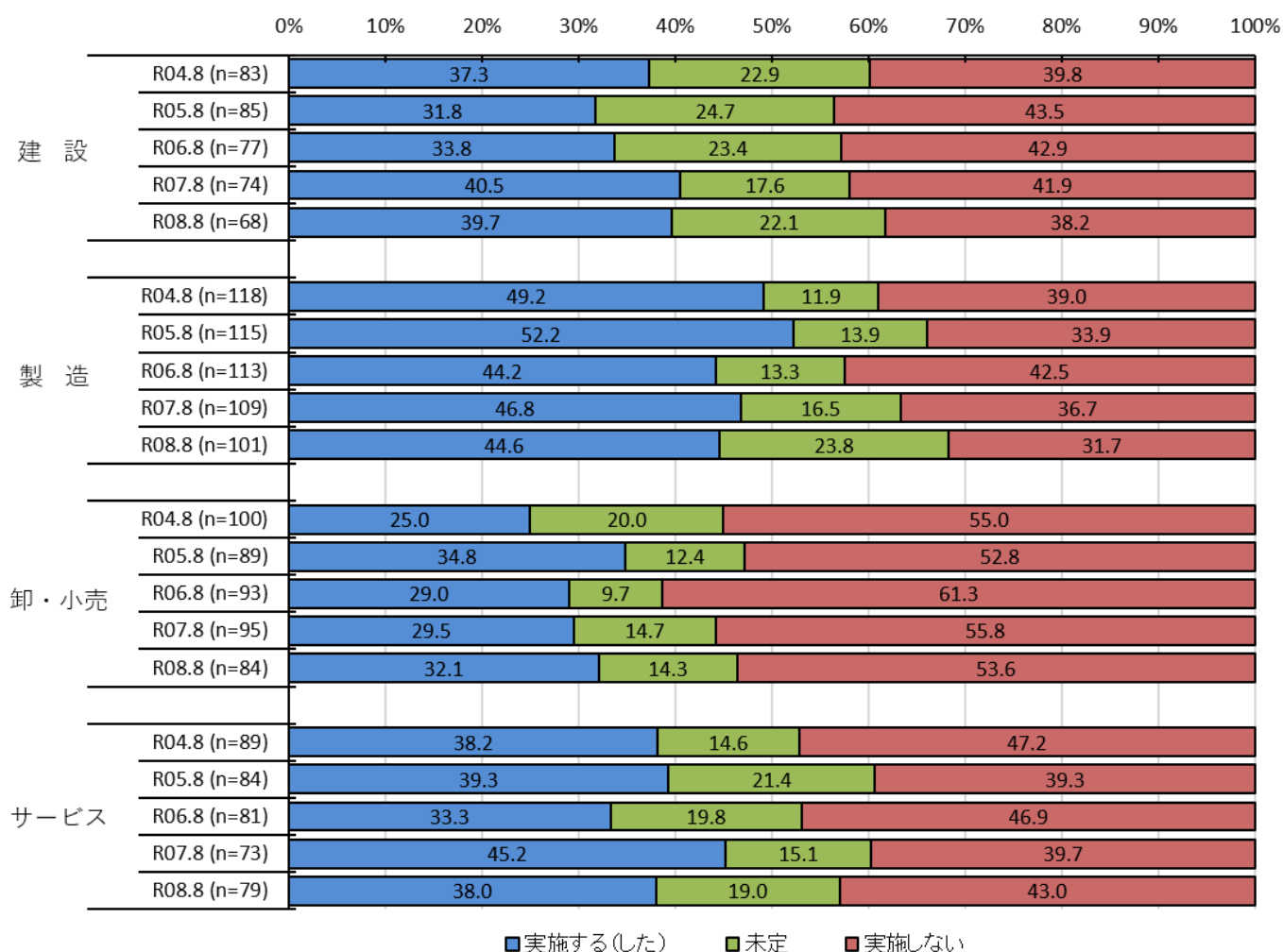
令和 8 年度中に設備投資を「実施する（した）」と回答した企業の割合は 38.9%と、前年度に比べ 1.6 ポイントの低下となった。また「実施しない」と回答した企業の割合は 41.3%と 2.3 ポイントの低下となった。

図表 25 「設備投資動向」の推移



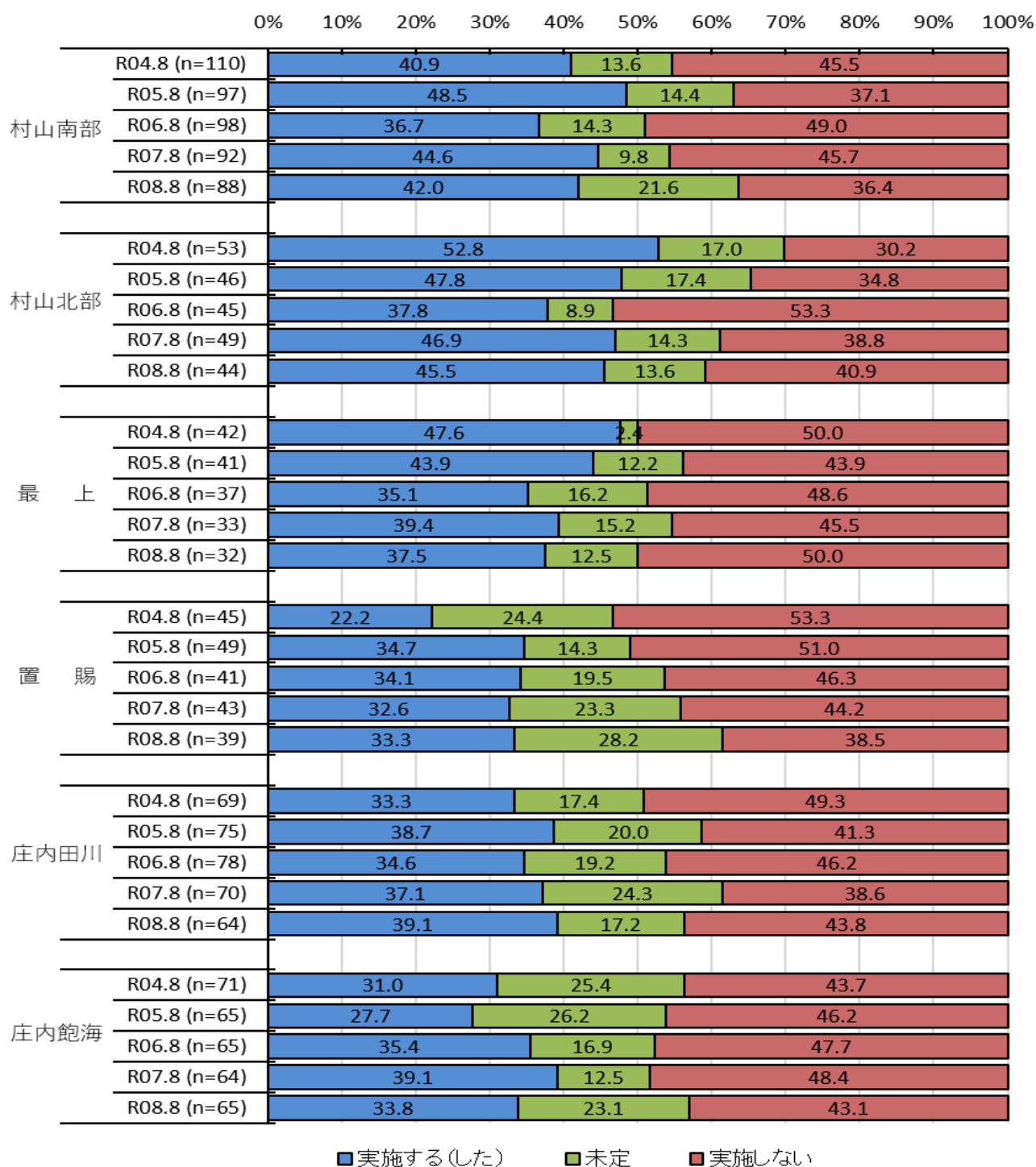
業種別にみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は、建設業が 39.7%（前年度比 0.8 ポイント低下）、製造業が 44.6%（前年度比 2.2 ポイント低下）、卸・小売業が 32.1%（前年度比 2.6 ポイント上昇）、サービス業が 38.0%（前年度比 7.2 ポイント低下）と、卸・小売業で上昇、建設業、製造業、サービス業で低下となった。

図表 26 業種別 「設備投資動向」の推移



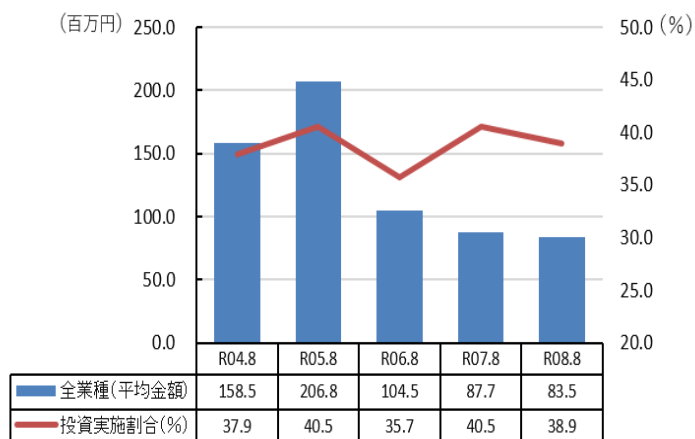
地域別にみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は、村山南部は 42.0%（前年度比 2.6 ポイント低下）、村山北部は 45.5%（前年度比 1.4 ポイント低下）、最上は 37.5%（前年度比 1.9 ポイント低下）、置賜は 33.3%（前年度比 0.7 ポイント上昇）、庄内田川は 39.1%（前年度比 2.0 ポイント上昇）、庄内飽海は 33.8%（前年度比 5.3 ポイント低下）となり、置賜、庄内田川を除く 4 地域で低下となった。

図表 27 地域別 「設備投資動向」の推移



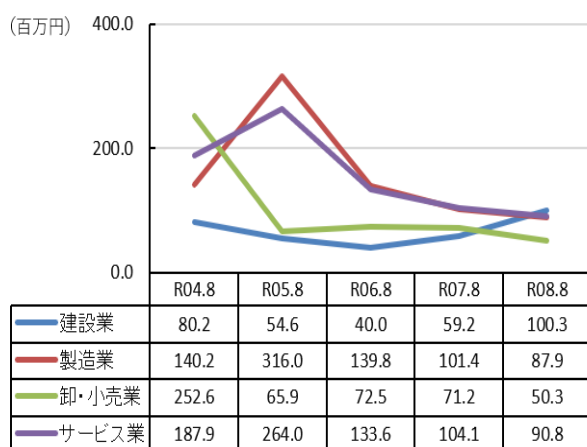
(2) 設備投資金額

図表 28 全業種 「平均設備投資金額と実施割合」の推移



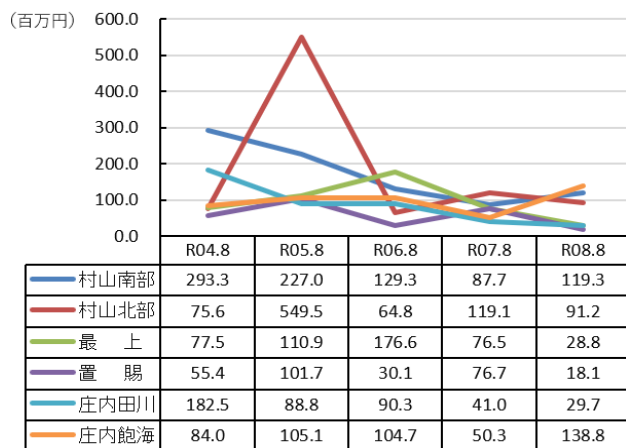
設備投資を「実施する(した)」と回答した企業に投資額を尋ねたところ、1社あたり平均設備投資金額(予定含む)は8,350万円で、前年度より420万円減少した。

図表 29 業種別 「平均設備投資金額」の推移



業種別にみると、建設業が1億30万円(前年度比4,110万円増加)、製造業が8,790万円(前年度比1,350万円減少)、卸・小売業が5,030万円(前年度比2,090万円減少)、サービス業が9,080万円(前年度比1,330万円減少)となり、建設業で増加、製造業、卸・小売業、サービス業で減少となった。

図表 30 地域別 「平均設備投資金額」の推移

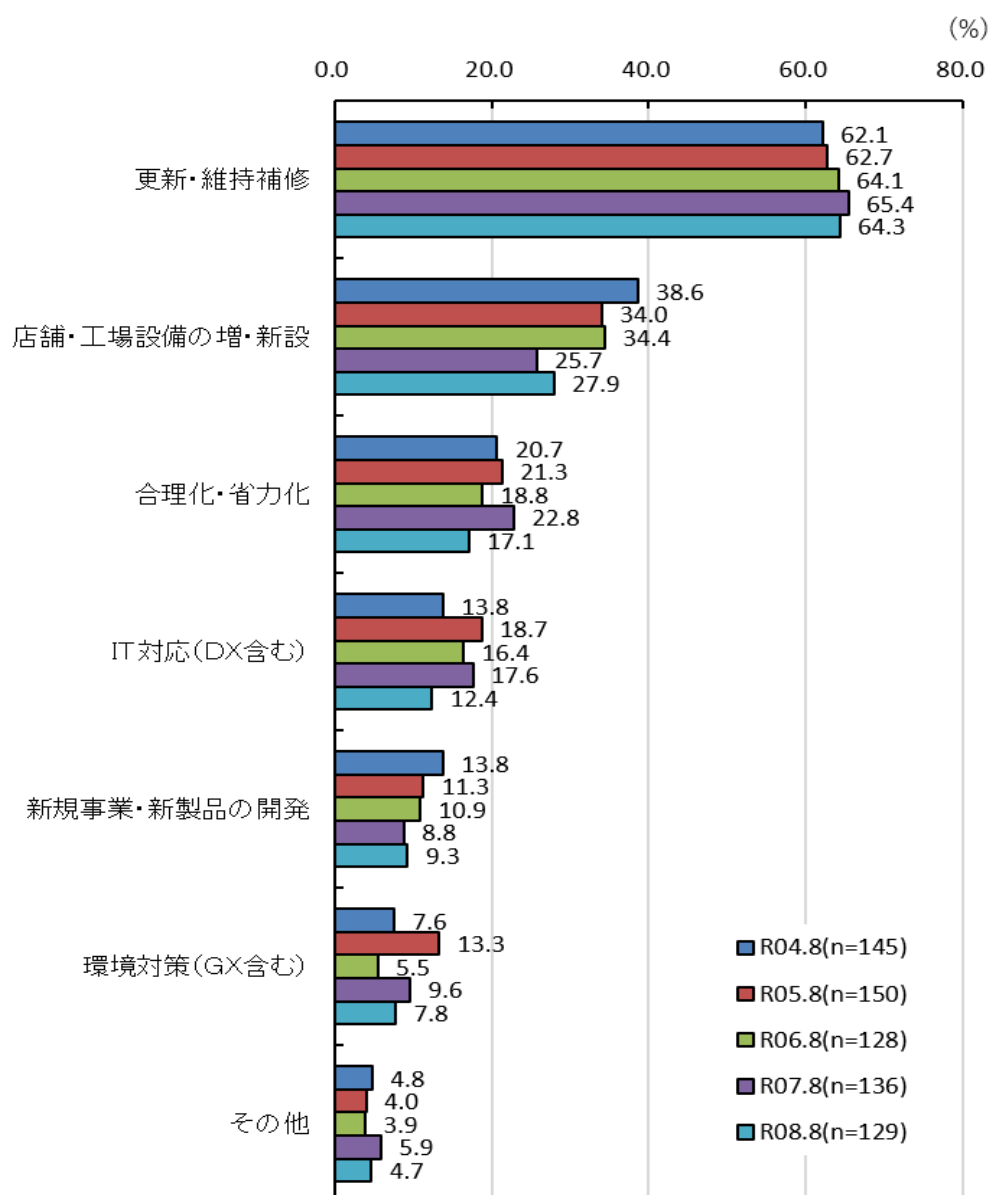


地域別にみると、村山南部が1億1,930万円(前年度比3,160万円増加)、村山北部が9,120万円(前年度比2,790万円減少)、最上が2,880万円(前年度比4,770万円減少)、置賜が1,810万円(前年度比5,860万円減少)、庄内田川が2,970万円(前年度比1,130万円減少)、庄内飽海が1億3,880万円(前年度比8,850万円増加)となり、村山南部、庄内飽海で増加、村山北部、最上、置賜、庄内田川で減少となった。

(3) 設備投資目的

設備投資の主な目的について尋ねたところ（複数回答）、「更新・維持補修」と回答した企業の割合が 64.3%と最も高くなった。次いで、「店舗・工場設備の増・新設」が 27.9%、「合理化・省力化」が 17.1%、「IT 対応（DX 含む）」が 12.4%と続いた。

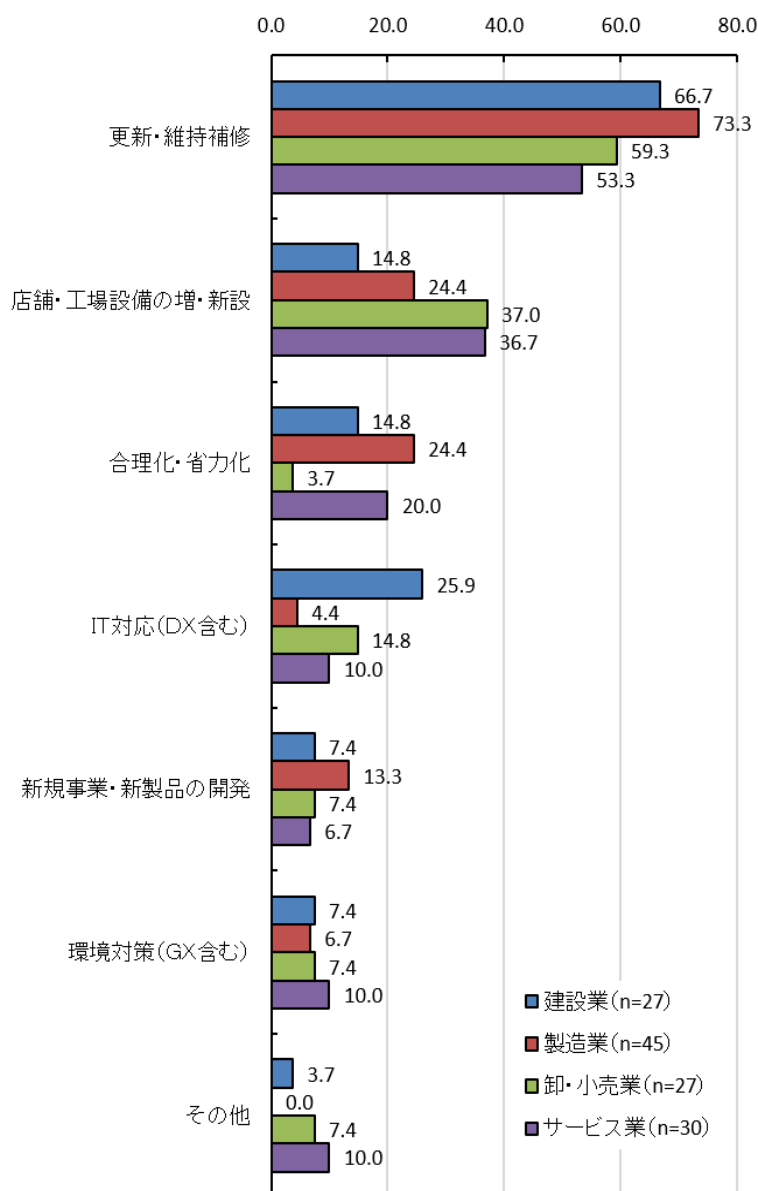
図表 31 「設備投資の目的」の推移（複数回答）



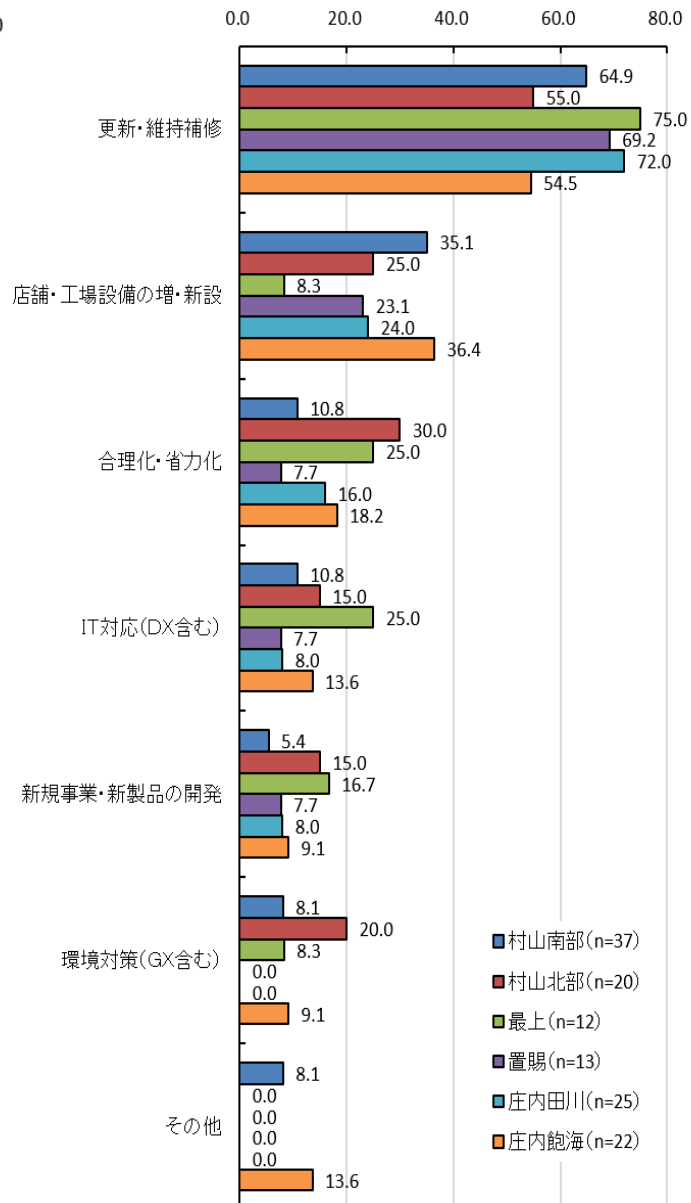
業種別に投資目的をみると、すべての業種で、「更新・維持補修」が最も高い割合となった。建設業では「IT対応（DX含む）」が第2位となっており、製造業では「店舗・工場設備の増・新設」、「合理化・省力化」が第2位となっている。卸・小売業、サービス業では「店舗・工場設備の増・新設」が第2位となっている。

地域別にみると、すべての地域で「更新・維持補修」が最も高い割合となり、第2位以下は地域によってばらつきがみられる。

図表 32 業種別「設備投資の目的」（複数回答） (%)



図表 33 地域別「設備投資の目的」（複数回答） (%)



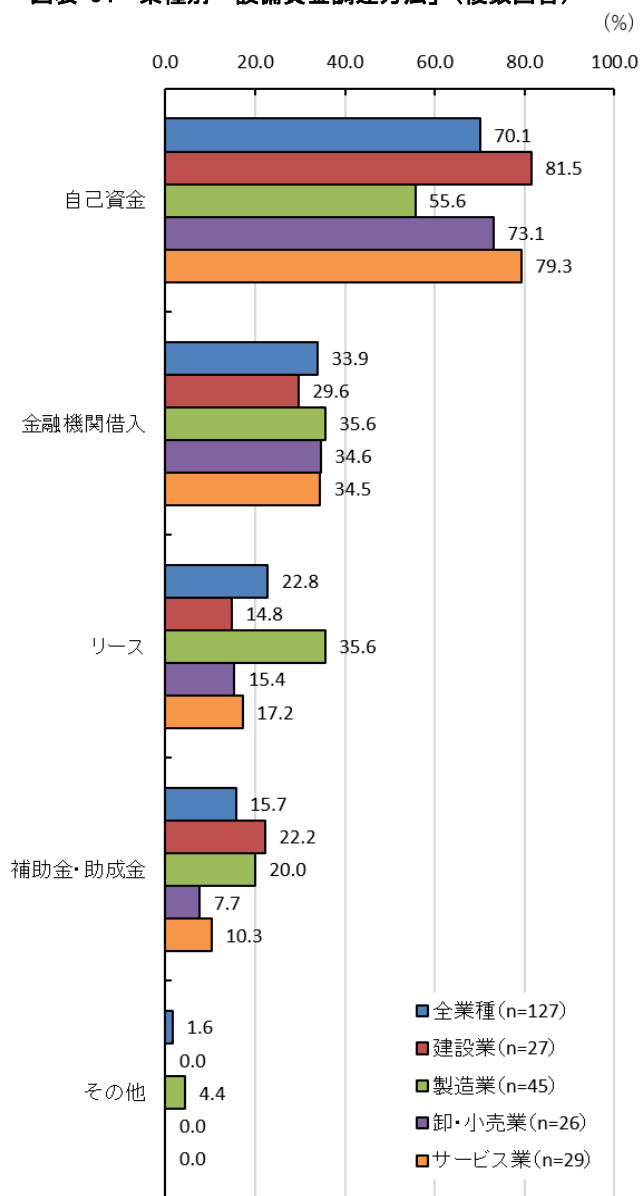
(4) 設備資金調達方法

設備資金の主な調達方法について尋ねたところ、全業種でみると「自己資金」と回答した企業の割合が 70.1%と最も高くなった。次いで、「金融機関借入」が 33.9%、「リース」が 22.8%、「補助金・助成金」が 15.7%と続いた。

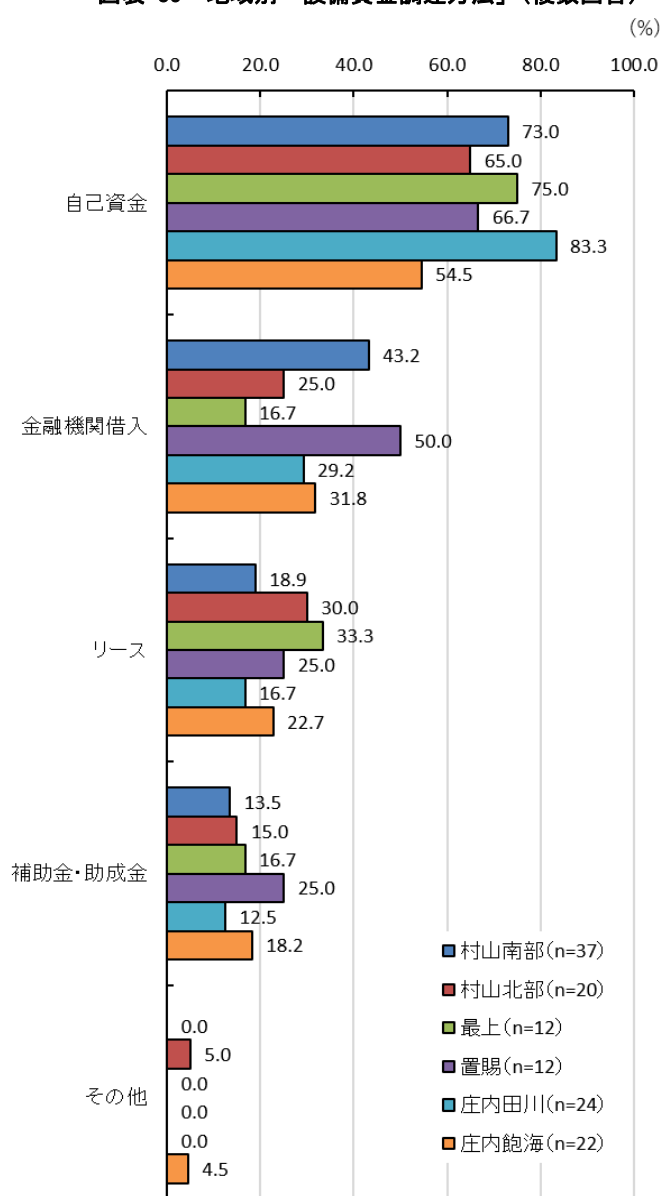
業種別にみると、すべての業種で「自己資金」が最も高い割合となった。特に、建設業、サービス業では約 8 割を占めており、その他の 2 業種と比べて高い割合となっている。

地域別にみると、すべての地域で「自己資金」が最も高い割合となった。村山北部、最上では「リース」が第 2 位となっているが、その他の 4 地域では「金融機関借入」が第 2 位となっている。

図表 34 業種別「設備資金調達方法」(複数回答)



図表 35 地域別「設備資金調達方法」(複数回答)



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	22	32	41	47	142
村山北部	20	28	17	17	82
最 上	18	17	8	17	60
置 賜	22	26	22	11	81
庄内田川	29	35	26	26	116
庄内飽海	32	29	31	35	127
合 計	143	167	145	153	608

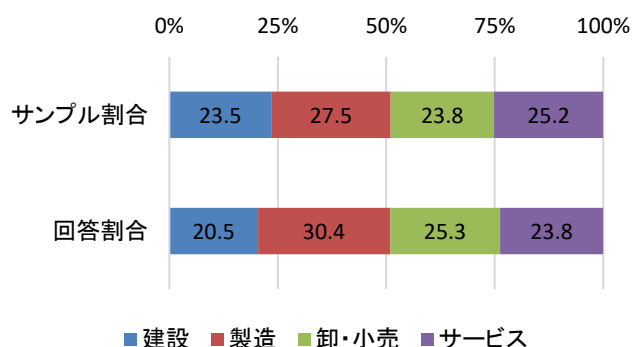
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	14	23	24	27	88
村山北部	4	17	14	9	44
最 上	11	9	6	6	32
置 賜	8	17	8	6	39
庄内田川	17	20	16	11	64
庄内飽海	14	15	16	20	65
合 計	68	101	84	79	332

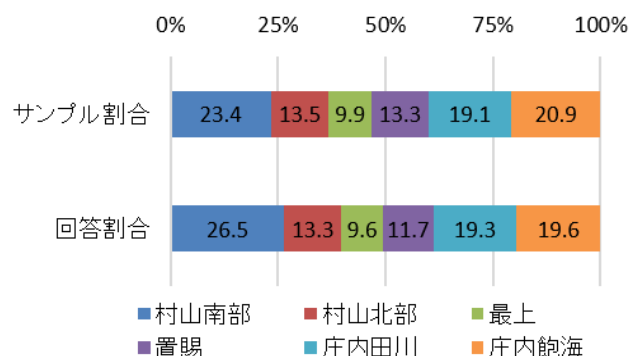
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	63.6	71.9	58.5	57.4	62.0
村山北部	20.0	60.7	82.4	52.9	53.7
最 上	61.1	52.9	75.0	35.3	53.3
置 賜	36.4	65.4	36.4	54.5	48.1
庄内田川	58.6	57.1	61.5	42.3	55.2
庄内飽海	43.8	51.7	51.6	57.1	51.2
合 計	47.6	60.5	57.9	51.6	54.6

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部 F A X を利用）

● 調査期間

令和 8 年 8 月 3 日(月)～17 日(月)

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製 (商) 品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採用している

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況 D I 値

= (「1. 良い」と回答した企業の割合) - (「3. 悪い」と回答した企業の割合)

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

本レポートの最新版は当社ホームページ (<https://fir.co.jp/>) からダウンロードすることができます。また、F S N 会員専用ページ (<https://fidea.cns-jp.com/>) では、最新版に加えて過去の調査レポートをダウンロード可能です。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研

リサーチ&コンサルティング事業本部 手塚 綾子 / 小林 直樹

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8 F

TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@fir.co.jp URL : <https://www.fir.co.jp/>